

「令和4（2022）年度武蔵野市民意識調査」の結果（速報）について

今年度の第六期長期計画・調整計画の策定にあたり、市民の皆さまの市政に対する考えを伺い、現在行っている事業などの満足度や、新たな行政課題、多様な市民ニーズを把握することを目的に、「武蔵野市民意識調査」を実施し、このたび結果の報告書（速報版）ができました。

今回の調査では、お住まいの地域のこと、市政に関する情報提供などについて、市の施策に対する満足度・重要度のほかに、新型コロナウイルス感染症に関する項目と、第六期長期計画にて施策のあり方について新たな展開を検討していくとしている、平和・多文化共生に関する項目を追加しました。

報告書（速報版）は市のホームページからご参照いただけます。また、調査結果は、すべての自由意見を含め担当部署へ情報提供するとともに、クロス集計や自由記入なども報告書（確定版）にまとめ、令和5年3月頃に発行する予定です。

■調査概要

調査対象：市に居住する満18歳以上の方

住民基本台帳からの無作為抽出4000名

調査方法：郵送配布。郵送回収・インターネット回答併用

調査時期：令和4（2022）年7月27日（水）から8月26日（金）まで

調査内容：市政に対する満足度、市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度など、平和・多文化共生について、自由記述による意見

回収数：1468件（うち546通分がインターネットによる回答） 回収率36.7%

■調査結果の主な内容

「武蔵野市にこれからも住みたい」と回答した方は、79.1%でした。その理由としては、「交通の便がよい」が最も多く、次いで「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」といった意見が続きました。

「これからどのようなまちになることが望ましいか」という質問では、「治安が良く災害に強い安全なまち」、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」との回答が上位に入りました。

また、新型コロナウイルス感染症に関連する質問では、重要と思う施策としておよそ8割の方が「保健・医療」と回答しました。市が行ったコロナ関連の施策のうち満足度が高かったのは、「くらし地域応援券」、次いで、「ワクチン接種体制の整備」「情報提供」でした。



[参考：速報については、ホームページにも掲載しています]

https://www.city.musashino.lg.jp/shiseijoho/ikenboshu_enquete/enquete/1040791.html

■問い合わせ 市民部市民活動推進課 0422-60-1829